

1. TRiASの原動力

- ✓ 職人技術が軽視され、日本のモノづくりが空洞化/形骸化している
- ✓ 形になっていないアイデアが潜在する中、資本や技術が、必要な時/必要な場所に届いてない
- ✓ これからの日本を創るという意志

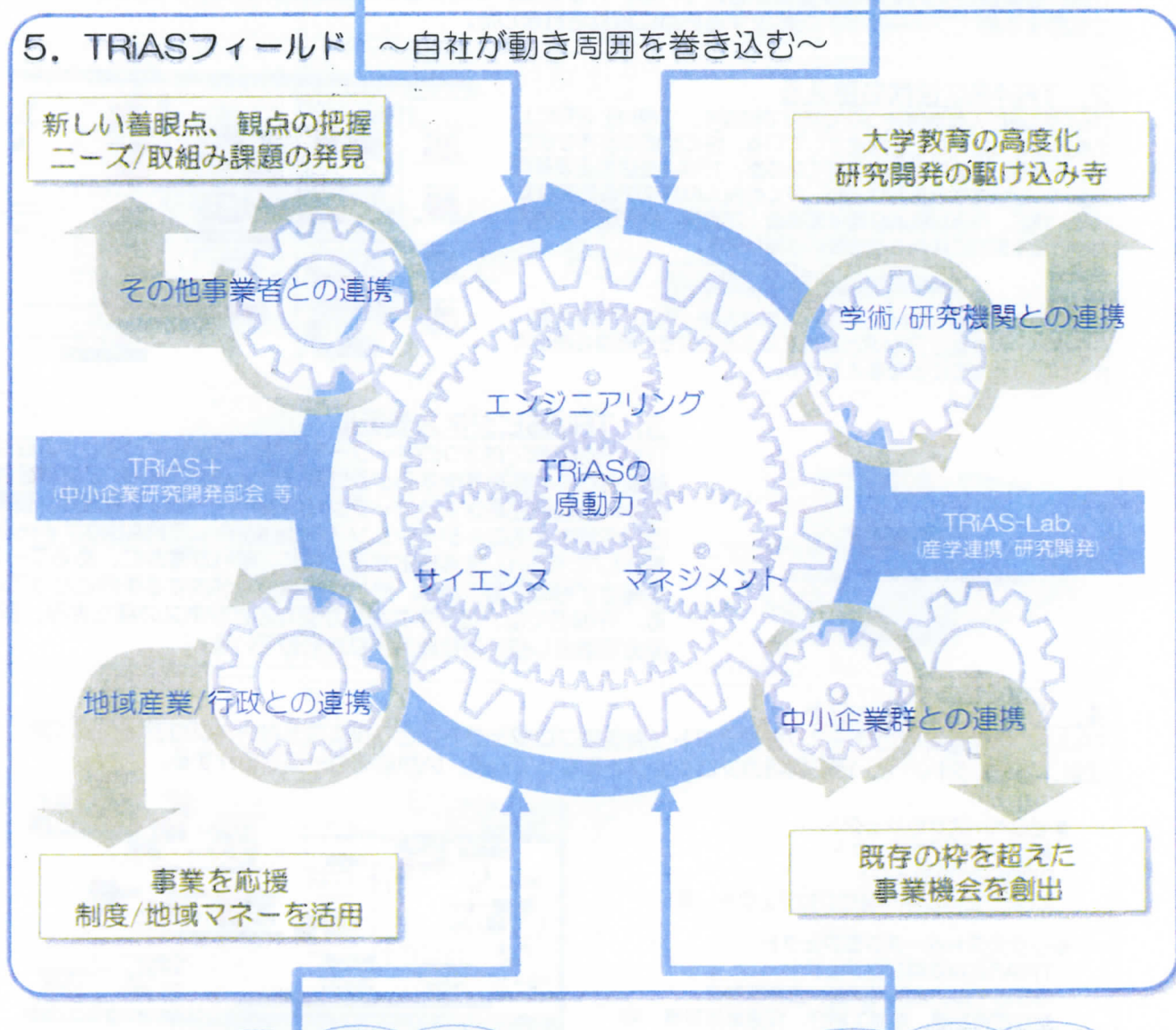
2. TRiASのビジネススキーム

- ✓ エンジニアリング/サイエンス/マネジメントが互いに強みを補完、誰もが挑戦できる環境が整っている



5. TRiASフィールド

～自社が動き周囲を巻き込む～



3. TRiASのビジネスモデル

- ✓ ビジネスモデルのキーワードは3つ、クラウド (Crowd/Cloud)、オープン (Open)、ローテーション (Rotation)

4. TRiASプロジェクト

- ✓ TRiASは大きく、ゼロベースプロジェクトとリクエストベースプロジェクト、2種類のプロジェクトを推進する

1. TRIASの原動力

昨今のものづくりを取り巻く環境（国内需要低迷、ニーズの多様化・複雑化、職人技術軽視による技術の空洞化）を打破し、潜在するアイデア（想い）を実現するために、どのように異業種連携を図れば良いか？また、高度経済成長を支えた、粘り強さで実現する力、蓄積した職人技術を如何に有効に使い、継承していくか？この問題を解決するためには、先人と若手、現場と経営、技術と学術がプロジェクトを通して手を組み、連携して想いを実現していくことが重要と考えている。TRIASは、プロジェクトに参加するメンバーがプレーヤーとして活躍する場（フィールド）を創出するために設立されました。

2. TRIASは世代も越える

TRIASは単に人や物事をつなぐだけではなく、「想い」を形にして事業として繋ぐことを得意としている。特に地域や世代をまたがった場合、途端に難易度が高くなるが、TRIASを囲む主要賛同メンバーには奥寺会長をはじめ、多くの先人の方々が名を連ねている。特に、神奈川異業種連携協議会：芝会長、政策研究大学院大学：橋本教授には強力な支援に感謝します。



また、各研究機関（RACE、神奈川工科大学、東京理科大学等）、各協議会、各企業がTRIASと連携することで相互に価値を創出できる枠組みとなることを考えている。



3. TRIASビジネスモデル

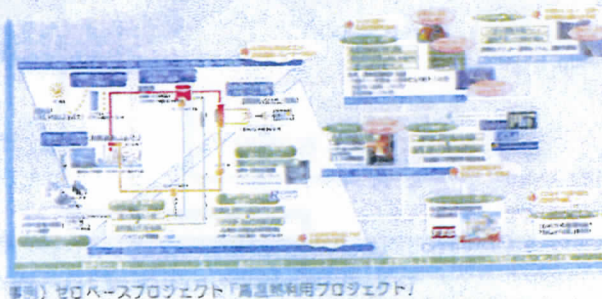
TRIASの事業では3つのキーワードを常に意識している。1つ目は、群衆もしくは雲を意味するクラウド（Crowd/Cloud）。2つ目は、開かれた機会を意味するオープン（Open）。そして最後は、循環や回転を意味するローテーション（Rotation）。TRIASのフィールドを介して「想い」を具現化すると共に、それが同時に、あるニーズを満たすものであったり、もしくは課題を解決する手段となっている。TRIASでは、ビジネスの種が更なるビジネスの種を生み、事業機会を創出し続ける仕組み作りを進めている。



4. TRIASプロジェクト

TRIASでは大きくゼロベースプロジェクト（発信型プロジェクト）とリクエストベースプロジェクト（受信型プロジェクト）という2種類のプロジェクトを扱っている。いかにその一部を紹介する。

- ◆ゼロベースプロジェクト
 - 高温熱利用プロジェクト
 - DRONEプロジェクト
 - 太陽光/エネルギー関連プロジェクト 等
- ◆リクエストベースプロジェクト
 - TRIAS製作依頼プロジェクト
 - 特殊コイル、太陽光架台、金物等製作
 - 制作技術指導、熟練工紹介、安全衛生指導 等



事例）ゼロベースプロジェクト「高温熱利用プロジェクト」

5. TRIASフィールド

各種取組み状況を広く発信し、新しい観点やニーズを発見する場としてのTRIAS+（中小企業研究開発部会、青年交流会、現場見学会等）や、製品の研究開発/事業の調査研究を自前で行うTRIAS-labo.を土台としたプレーヤーが「挑戦する場」を我々はTRIASフィールドと呼んでいます。

TRIAS自身が動くことで、周囲に変化を与え、その変化が大きな価値として世界に発信されるよう取り組んでいきたいと考えております。

会社名：株式会社トライアス
 代表：栗田篤
 住所：神奈川県横浜市中区二葉2-27-15
 電話：046-843-7370
 携帯：090-5416-8654
 FAX：046-844-0366
 連絡先：kurita@trias.ne.jp



TRIASイメージキャラクター
「とらいあちゃん」